



ほけんだより

令和元年5月31日 中央保育所

晴天が続いていましたが、やっと梅雨らしくなってきました。

5月に入り、手足口病が流行しましたが、夏を前にアデノウイルスによるプール熱(咽頭炎結膜)やヘルパンギーナなどの感染にも注意しましょう。

入室前の手洗いは、お子さんと一緒に保護者の方もお願ひします。



水いぼ Q & A



Q.水いぼって何？

A.伝染性軟属腫ウイルスが原因でできる粟粒大のいぼで、おなかやひじ、わきの下などにできて広がります。

Q.登園やプールは？

A.登園の制限はありません。プールもOKですが、傷がじゅくじゅくしているときはガーゼで覆い、プールも控えたほうがよいでしょう。

Q.うつるの？

A.いぼがつぶれて中の液が付くとうつります。体の接触、タオルなどの共有でうつりやすいので注意が必要です。

Q.どうやって治すの？

A.そのままでも半年から1年半ほどで治ります。アトピー性皮膚炎の子や、かゆくてかきこわしてしまうような場合は医師に相談のうえ、治療を。

アデノウイルス感染症がはやっています

目の症状が気になったら、こんな病気かも！？

どちらもアデノウイルスによる感染症です。感染力が強いため注意が必要。早めに受診しましょう。

症状

プール熱

- 発熱(38℃以上)
- のどの痛み
- 目の充血
- 目やに、涙
- ※熱は3~5日続く

ケア

- 対処療法が中心。のどごしがよい食事にする
- 水分補給をして脱水予防を

症状

流行性角結膜炎

ケア

- 目の充血
- 目やに
- まぶたのはれ
- ※ひどくなると発熱や下痢を伴うことも
- 処方された目薬などを使う
- タオルなどの共有をしない
- 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う



※どちらも、登園には医師が記入した治癒証明書が必要になります。

「ヘルパンギーナ」に注意

のどの奥に水ぼうがができる「ヘルパンギーナ」がはやっています。夏かぜの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれないようなときは急ぎ病院へ。

症状

- 38~40℃の高熱が2~3日続く
- のどの奥に白いぶつぶつができる
- のどの痛み
- 食欲不振など

ケア

- かぜと同じケア
- こまめな水分補給
- 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごしと消化のよい食事



熱が下がって1日以上たち、いつもどおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

手足口病

にご注意を

てのひら、足の裏、口の中に小さな(米粒大)の発しんや水ぼうがができる手足口病。実は、おしりや皮膚の柔らかい所にもできたり、痛みやかゆみを伴い発熱したりすること。また、口内炎が悪化して食欲が落ちたり、まれに髄膜炎などの合併症を起こしたりすることがあるので、注意が必要です。



登園は、熱が下がり、1日以上たって普段の食事ができるようになったら。